ROTARY CLUB of KOBE EAST 65TH

Rotary Club of KOBE EAST

The Rotary club of Kobe East BULLETIN

神戸東ロータリークラブ会報 No.388 2018-2019 No2

表紙絵：太原　震也元会員

会　長／澤田 正樹　副会長／福原 敏晃　幹　事／山本 康一郎　広報委員長／小谷 哲也　副委員長／河崎 光

例会場：ホテルオークラ神戸　　例会曜日：毎週火曜日

クラブ会長テーマ　「共に一緒に心の手つないで行動しよう」

Get Engaged Together Hand in Hand with United Hearts

インスピレーションになろう

RI President

BARRY RASSIN

2018-2019年度国際ロータリー会長

2017－18 年度　第 2680 地区
ロータリー財団地区奨学金（タイプ 2）
奨学生　小川　優

私は世界をより平和で公平な場所を目指す市民を育む教育を求め、英国ヨーク市にあるヨーク大学大学院教育学部地球・国際市民教育学科で研究に取り組みました。地球市民は、日本では親しみのあるトピックではありません。地球市民の概念は学者が様々に定義づけていますが、簡単にまとめると、グローバルな視点で物事を考え、政治活動に参加し、自分の今いる場所・地域で課題解決のために積極的に行動する市民のことです。そんな市民を育成するために、自分の権利や責任、政治を読み解く力、何が公平なのかを考えられる力、地域の問題の発見・解決能力、そして批判的能力などを教育するのが、地球市民教育です。地球市民を育成すべく、ヨーク大学では、主に社会正義と教育の関係、市民教育とその教授法、そして高等教育の傾向などについて研究をしました。何のための教育か、何が公平又は正義なのか、日本の教育システムはいかに変わるべきなのか、そんなことを自問自答する毎日でした。この勉学の日々で、私は研究に係るスキルや自己管理能力を得る以上に、自分自身の人間的成長を感じることができました。

また、机上の勉学だけでなく、より良い教育例を学びたいと思い課外活動にも積極的に参加しました。グローバル教育センターでは、ボランティアとして、Brexit で移民を問題視する風潮を打破すべくイギリス社会で貢献している移民のインタビュー・キャンペーンや、フェアトレード会議の運営のお手伝いをさせていただきました。フェアトレードの会議では、フェアトレード運動をしている現地の小・中学生や先生が推進活動やその成果を発表し、市の関係者らがその功績を称えました。また、ロンドン大学と創価学会インターナショナルが共同開催した世界市民教育国際会議にも参加しました。益々ビジネス・競争中心の社会が広がり、自己の利益を優先する社会の中で、いかに他者や平和な社会を築くために行動できる市民を育てていくかを討議しました。これらの活動から、結果を可視化しにくく軽視されがちな教育ですが、地球市民教育の子どもたちへの大きな影響力を目の当たりにでき、これらの良い教育例を日本に持ち帰ることができることをとても誇りに思います。そして、これからは、イギリスでの経験を活かし、高等教育機関等でグローバル教育や市民教育のプログラム・コーディネーターになれるよう努める決意です。

最後に、神戸東ロータリークラブ、そして、ご紹介いただいたヨーク・ロータリークラブの方々には、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。イギリスでは、個人的な相談を聞いていただいたり、クリスマス例会やチャリティーイベント、さらに観光を通して歴史や文化について教えていただいたりしました。ロータリークラブの皆様の支援があってこその貴重な経験をさせていただきました。これからも皆様の温かな激励を思い出しながら、奉仕の心で活躍していきたいと思います。

職場訪問　「ロックフィールド本社」を見学

今年度、職業奉仕委員会事業の一つである職場訪問を10月16日（火）、総勢34名にて株式会社ロック・フィールド様の神戸本社へお邪魔させて頂きました。

本社屋に隣接した職員用託児所や緑地庭園を眼下に見ながら全長100メートルの渡り廊下歩いた先には美化と整理整頓が行き届いた本社玄関が我々を出迎えてくれました。

広報担当者様のご案内により、百貨店の販売ブースをそのまま再現した商品開発用のキッチンラボや、屋上水庭、さらにはカフェテラスのような広大な従業員食堂などを見学させて頂きましたが、第3工区にあるのが勿体ないような安藤忠雄氏の全面設計・監修というモダンで華やかな外観の中に、そこで働くスタッフへの心遣いが随所に散りばめられ、それらが見事に調和されているという印象を持ちました。

食堂では実際に店舗で販売しているサラダやジュースが毎日職員にも提供されており、また前述の職員用託児所は子供を持つ女性に対し働き易い環境づくりの一環ということで福利厚生の充実にかなり力を尽くされている様子でした。

食品加工業として常に『安心・安全な商品づくり』という社会的責任を全うするために、まずはそれに着手する職員の満足、働き甲斐というものの充実が重要という企業姿勢の表れと実感いたしました。

その後会議室で約1時間程度、スライドで企業の歴史、理念、将来構想などの説明を受けた後、質疑応答の機会を持つことが出来ました。

社会問題となっている廃棄食材問題・・、中食文化の今後・・、飽きさせない商品づくり・・など、活発な意見交換が行われましたが、それらを通して常に顧客満足を追い求め、妥協のない探求心で業界を牽引するロック・フィールド社に対し、何かしら頑なで直向きな職人気質のような社風を感じた次第です。

参加したロータリーメンバーもこの度の訪問できっと多くのことを学び、社業の経営に対し何かしらの気付きを感じ取ることが出来たと確信しております。

奉仕プロジェクト委員会
職業奉仕委員長　松井照男

創立 65 周年記念一泊家族旅行

2018 年 11 月 17 日、18 日に創立 65 周年記念一泊家族旅行を家族委員会で企画致しましたところ、会員家族合わせて 23 名の参加でバス旅行に行ってまいりました。行程は 17 日には、神戸東ロータリーの畑崎会員が元名誉館長を務められた、島根　足立美術館見学をいたしました。素晴らしい庭園、横山大観、魯山人等の美術品鑑賞のあと、玉造温泉に宿泊、翌、18 日は松江城堀巡り、松江城見学のあと大山寺参拝昼食に、宿坊の山楽荘で百歳まで長生きできるといわれる精進料理を堪能して帰って参りました。

（家族委員長　田中義明）

歓 神戸東ロータリークラブ 迎

歓 神戸東ロータリークラブ 迎

歓 神戸東ロータリークラブ 迎

神戸市立王子動物園にて
永田 萠先生との絵画教室を開催しました

平成 30 年 11 月 25 日（日）王子動物園で永田萠先生のご指導の下、子供 100 人が参加し、絵画教室を開催いたしました。

この事業企画は、絵本作家の永田萠先生から個別に指導を受けることにより、子供たちが絵を描くことへの興味を深め、豊かな感性と創造力を育む機会とし、また、動物園で絵を描くことを通じて、動物園の役割と環境保護への理解を深めていただく趣旨で行いました。

当日は、お天気にも恵まれ、最高のコンデションの中、子供たちが自分で描きたいと思う動物の所へ元気に向かって行きました。その後、永田先生が 1 日かけて、ひとりひとりに丁寧に指導して回りました。終了後、描き終わった絵を全て展示し、先生が全員の前で講評してくれました。子供たちも真剣な目で講評を聞いていました。

また澤田会長は永田萠先生の指導に一日同行し、閉会の挨拶を行いました。

（青少年奉仕委員長　田中　寿夫）

絵本作家 永田萌さんと
王子動物園で絵を描こう

手作り感満載の創立 65 周年記念忘年家族会を開催

平成 30 年 12 月 25 日にメリケンパークオリエンタルにおきまして午後 6 時に開宴してコーラス同好会，むつみ会のコーラスから幕開けをいたしました。会員、家族、来賓を含め総勢 143 名のご参加をいただきまして大変ありがとうございました。メリケンパークオリエンタルの和洋折衷のディナーコース料理をいただきながら、澤田会長の 65 周年は会員、家族のきずなを深める年にしたいという思いを、神戸東ロータリークラブの会員で KE クールブラザーズというバンドを新規結成していただきました。バンドマスターとして弘田会員、あと関本会員、多田会員、吉田茂会員、樋口敦仁会員で構成されました。アンコールを含め 6 曲の演奏をしていただきました。恒例のくじ引きも多くの会員のご厚意に賞品を寄贈いただきまして、売り上げは財団と米山に寄付とさせて頂きます。最後になりましたが、多くの会員、家族の方にご協力のいただきまして大変ありがとうございました。　　（家族委員長　田中義明）

神戸東ロータリークラブ忘年家族会

友生支援学校招待ボウリングを開催しました

12 月 7 日金曜日に、神戸市立友生支援学校の生徒さんを招待して、毎年恒例となっている、ボウリング大会を開催いたしました。

当日は午前 10 時から 12 時までの間、六甲ボウルさんの 40 レーンを貸し切り、100 名を超える生徒さんが各々ボウリングを楽しまれました。

六甲ボウルさんも、友生支援学校の先生達も、手慣れた様子でいろいろと取り仕切ってくださり、無事に大きな事故もなく終える事ができました。

また、当日は神戸東ロータリークラブより 17 名の会員にお集まりいただき、会の運営をお手伝いいただきました。

皆さまにご協力いただいたお蔭で滞りなく進行する事ができました。平日の午前中という、お忙しい中、お集りいただき、心より感謝いたします。

来月 1 月 31 日（木曜日）には、青陽東養護学校の生徒さんを招待して、同様にボウリング大会を開催いたします。お時間ある会員はお集りいただき、ご協力いただければ幸いです。

（社会奉仕委員長　石原　守）

青陽東養護学校招待ボウリング大会を開催しました

1月31日木曜日に、青陽東養護学校の生徒さんや関係者を招待して、毎年恒例となっている、ボウリング大会を開催いたしました。

当日は午前10時から12時までの間、六甲ボウルさんの40レーンを貸し切り、100名を超える生徒さんが各々ボウリングを楽しまれました。

六甲ボウルさんも、青陽東養護学校の先生達も、手慣れた様子でいろいろと取り仕切ってくださり、無事に大きな事故もなく終える事ができました。

また、当日は神戸東ロータリークラブからも多くの会員にお集まりいただき、会の運営をお手伝いいただきました。

皆さまにご協力いただいたお蔭で滞りなく進行する事ができました。平日の午前中という、お忙しい中、お集りいただき、心より感謝いたします。

（社会奉仕委員長　石原　守）

和田　真一

－和田税理士事務所－

平成30年2月に入会いたしました、和田真一です。神戸市灘区在住です。大学時代は東京で、それ以外は神戸市におります。職業は税理士となります。祖父が税理士として開業してから50年以上になります。鯉川筋の中華料理組合の建物で長年営業しておりました。2017年に同じく税理士として開業している父とともに、海岸通に移転いたしました。家庭環境もあり学生時代から税理士になることをこころざしておりました。東京からこちらに戻り他所の会計事務所に10年ほど勤めさせてもらいました。そこで、ISO（品質標準規格）の取得に携わりました。マネジメント側の以降としては使用人である顧問先担当者ごとに業務の質を均一にしたいという思惑があったと思います。初心者でありながら、仕事のマニュアル化をしたことで、業務内容も一通り理解できました。その規格の根底にある顧客満足という考え方は現在も大事にしております。そこで、資格を取り35歳の時に退職し独立しました。父親も税理士で同じ場所で業務しておりますが、事務所は別で、お客様もそれぞれ異なります。父親が南ロータリークラブに所属しております。

普段、仕事以外は、子供と過ごす時間を最優先にしています。30～40歳代前半までは仕事などで家にいないことも多かったのですが、子供が小さいのは今のうちだけですので、平日も早く帰宅して、夜9時台に寝て、朝は5時ぐらいに起床します。毎日ではありませんが、家の周りを走ります。初マラソンを年末に経験して今後も走り続けて生きたいと思います。（できるだけ・・。）他に趣味は下手ですがゴルフです。ロータリーに入会して、野球をすることになるとは、ましてまさか甲子園でプレーすることになるとは思いませんでした。すごく楽しかったので、バッティングセンターで練習するなどして、野球を続けていけるようにがんばります。

お客さまは、中小企業の法人が主です。法人の場合、法人税がかかりそこからの給料で所得税がかかり、個人で得た財産には最終的に相続税がかかります。その局面ごとにそれぞれの税金について検討する必要があります。会社を構成する株式の評価額も年々変わります。その計算は複雑で、立派な相続財産となり、会社の事業承継にも関わります。相続税・贈与税は、一年をとおして相談があります。法人の場合、月々の試算表で会計の成績を社長に説明して、反省や、決算対策会議などを行います。中長期や単年度の経営計画策定やその実践確認も提供業務としています。税務申告が中心ですが、お客さまが成長していけるようにアドバイスすることを心がけています。そのほかには年に数回はそれぞれの税法で税務調査があり立会いなどをおこないます。

今のように走れるのもいつまでか分かりませんし、子供もそのうち相手してくれなくなる、というわけではないですが、今後もロータリーについて学び、活動やゴルフなどを通して、ロータリーライフを楽しんで充実させてまいりたいと思っています。そのためには仕事を第一に、今後も日々励んでまいりたいと思います。

本田　正昭

－日立製作所　神戸支店－

昨年6月に伝統ある神戸東ロータリークラブに入会させて頂きました本田正昭です。

私は、1967年（昭和42年）10月21日に生まれ今年で52歳になります。生まれた場所は長崎県長崎市です。家族は、大阪市生まれで6歳年下の妻と今年8歳になった娘の3人で慎ましく暮らしております。最初に少年時代の長崎についてですが、山と海に囲まれ平地が少ない長崎港内に大小の造船所がひしめき合う様な街並みとなっておりました。当時の長崎における造船業は、大変好景気でお祭りも多く街に活気がありました。繁華街で遊んだり山では虫、海ではサザエやうにを取って食べていました。中学からは、やんちゃだった性格もあり親戚の勧めでバスケットボールを始めました。自分の予想とは裏腹に、所属したチームは大会で上位まで勝ち進みました。その結果、高校から大学そして現職の日立製作所に入社するまでバスケットボールを続ける結果となりました。中学生から高校生の頃のバスケットボールは、大変楽しく皆で仲良くプレーしていました。大学生になってから以降のバスケットボールは、年を追うごとに勝利する意識が強くなり更に厳しい環境を求めて自己研鑽に励みました。その分、チーム内の繋がりや合宿所での上下関係の厳しさは私の記憶の中で特別な思い出となっています。1990年（平成2年）いわゆる「バブル景気」の真っ只中に日立製作所に入社しました。　バスケットボールでは、日本リーグ2部だった日立本社チームに所属。日々の業務では、本社にある通信分野のNTT営業本部第一営業部へ配属となりました。バブル絶頂期の日立の通信事業は、ISDNという規格に準じた巨大な電話交換機を製造販売しておりました。この特別な仕様の電話交換機を全国津々浦々（国内の電話普及率97％）にある通信会社の電話局（約8000局）へ順次納入しておりました。まだ手書きの事務作業も多い反面、北海道から沖縄までの出張も多く営業が楽しく感じられる時期でした。一方バスケットボールでは、試合に出れない日々が続き出張の多い業務との両立も困難な状況だったので入社3年目にバスケットボール部を引退しました。引退後は、思ってた以上に時間に余裕が生まれ、六本木や新宿界隈でよく遊びました。仕事の関係でゴルフも始めたのもこの頃でした。お世話になっていた通信会社が、1999年7月に東西再編成により分社し新会社を設立する事になりました。私共通信分野の営業部隊は、半年前の1999年1月から大阪の関西支社へ転勤となり西日本エリアの新会社対応をする事になりました。当初は、ルータやホームゲートウェイを製造販売しておりました。しかし国内の通信市場は、光回線からモバイルへ移行しながら高速大容量化も進み競争が激化しました。海外ベンダの台頭もあり苦戦しながら通信インフラの営業活動を継続しておりました。そんな中で昨年4月に産業や流通、医療までいろんな分野が密集しているエリアの神戸支店に赴任しました。今は、様々な社会課題の解決に向け日立グループで結束し柔軟に取り組んでいきたいと思います。

最後になりましたが、昨年6月に神戸東ロータリークラブに入会させて頂き間もなく1年になります。ロータリアンの皆様の奉仕と友情の姿勢は、私にとって大変貴重な気づきを与えて頂き大変感謝しております。今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

井上　浩次
ーアイシスー

この度は神戸東ロータリークラブに入会させて頂き有難うございます。

昨年6月に入会させて頂きました井上浩次です。年齢は47歳です。

家族は妻と子供が2人の4人で、神戸市中央区中島通に住んでおります。

私は、幼少の頃からずっとサッカーをしており、今までの人生の全てにおいてサッカーと共に歩んで参りました。

サッカーとの出会いは、地元の神戸市立多井畑小学校に通いながら多井畑サッカースポーツ少年団に入団したのがきっかけです。その当時、良い環境の下、良き指導者に巡り合うこととなり、サッカーの基本を学び、同時にサッカーの奥深さ面白さを幼少の頃に知ることとなりました。

そのようなきっかけで始まったサッカーですが、気づけば生活の中心となっており、その後もサッカー推薦で滝川第二高校、愛知学泉大学と進学する事となりました。

私の学生生活の中で愛知県豊田市での大学の4年間というのは、本当に色々な経験をさせていただきました。今まで親元で高校に通いサッカーに励んでいた生活から、豊田市で一人暮らしを始め、自由奔放な生活を送る事になりました。充実した立派な学生生活を送れたとは口が裂けても言えませんが、この大学での4年間、サッカーを通じ、またサッカー以外の事でも、色々な経験をし学び、自分を見つめ直し、成長させてもらった大切な4年間だった事は間違いないと思います。

そして大学を卒業して社会人として進路を決める際、私は普通の社会人として就職する事を選択し、川崎汽船グループの子会社、日東物流株式会社へと就職することになりました。

サッカーでずっと進学してきた私が、大学卒業後全く普通のサラリーマンとして働く事となり、当初はかなり新鮮さを感じていた半面、全く社会人として常識を心得ていなかったので、非常に苦労する事となりました。しかも配属先は総務部人事課です。仕事内容は、就業規則・給与計算・採用などの労務管理全般です。人を見る、管理することの難しさを実感しながら、組織で成り立つ会社の道理を学びました。

ここで学んだ労務管理の知識、経験は、今現在営む人材派遣会社の基盤となり、大変活かされています。

サラリーマンとして6年間勤務していた後、当時妻が派遣会社で務め、私も総務部人事課で務めていた事もあり、人材に関する会社を起業したいという思いが沸々と湧き上がり、28歳の時に人生最大の決断をし、2000年9月に人材派遣会社「株式会社アイシス」を起業しました。景気の動向もあり、現在は神戸と高砂に拠点を置き、日々邁進しております。

サッカーは？！と言いますと。

現在は三菱重工神戸と兵庫県40選抜に所属し選手兼監督とし、現役さながら続けておりております。サッカーなしでは語れない人生のようです。

この様な私ですが、今までのサッカー人生を通し、仲間と一緒にひとつの目標を追いかけるチームワークの楽しさ･大切さを、身をもって感じて参りました。ロータリー活動でも人と人との繋がりを重んじ、先輩方々のご指導を賜りながら貢献していきたい所存です。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

柳川　晃良

－柳川商会－

皆様こんにちは。本年の６月に入会をさせて頂きました柳川晃良と申します。本日は貴重な例会のお時間にこのような機会を与えて下さいまして誠に有難うございます。

私は昭和37年生まれの56歳です。幼稚園から中学校までは地元の須磨区で高校は垂水区の星陵高校、大学は大阪工業大学の建築学科に通っておりました。家族は５人家族で妻と子供３人がおりますが、今年長女が結婚致しまして現在は４人で暮らしております。

高校ではフェンシング部に入りまして、１年の時は毎日ランニングと筋トレの日々を過ごしました。フェンシングの基本構えは中腰でして見た目よりも太ももの筋肉が使われ常に太ももが筋肉痛だったことを覚えています。インターハイや国体にも出させて頂きました。また、大学の途中と社会人になって空手の糸東流という流派を習い、師範が子供にキッズ空手を教える時のお手伝いとかもさせて頂いておりました。私の習っていました空手は寸止めが基本のあまり実践的ではない空手です。ロータリーの先輩の皆様には、格闘技をなさっておられまして実践的で本当にお強い方がたくさんいらっしゃいますので大変恐縮致します。

40代になりまして兵庫区の「柳原のえべっさん」の世話人をさせて頂き、梅田さんとご一緒させて頂いております。その御縁で今年の１月に神戸東ロータリークラブへのお誘いを頂きました。また、吉田茂先輩からもご紹介頂きまして入会させて頂くことになりました。伝統と格式のある神戸東ロータリークラブに入会させて頂くという事で最初は非常に良い意味でおそれていましたのですが、入会後に先輩の皆様からいつもお優しいお言葉をかけて頂いたり、笑顔で接して頂いたりしまして、今は本当に良いクラブに入れて頂けましたことを感謝致しております。

仕事は不動産売買・賃貸の仲介、管理と建築リフォームをさせて頂いております。

大学を卒業致しまして芦屋市を基盤とするアーバンライフ販売という会社に入社し約５年勤めさせて頂きその後に独立致しました。そこで教わりました思いは「常に紳士であれ」「お客様のことを第一に考える」「地域でのアーバンファンを増やしていく」でした。入社後にバブルが始まり、まだ社会人になりたての私には何が平常なのかもわからないうちに好景気の中に突入し、上司がこんなに価格が毎月上昇するのはおかしいから普通と思ってはいけない。土地転がしをする買取業者に売るような簡単な営業をしてはいけない。エンドユーザーの御客様を大切に丁寧な営業をしなくてはいけない。と、今思えば本当に重要な営業の基礎や考え方をイチから教えて頂いたと感謝しています。

話をさかのぼりますと、祖父は車関係の仕事をしながら副業で小規模な貸家業をしており、父がそれらのあとを継いでおりましたが、私が20歳の時に突然の心臓発作にて50歳で他界し、母が引き継ぎました。

建築は阪神淡路大震災のあとは新築工事も多数施工させて頂きましたが大手様には勝てず、現在はリノベーションや改修工事に特化させて頂いております。

最後になりますが、まだまだ何もわからない新参者でして、皆様にいろんな面でご迷惑をおかけ致しますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

▲７月 17 日「奉仕のお話」
職業奉仕委員長　松　井　照　男　会員

▲７月 24 日「神様からの宿題」
山　本　智　子　氏

▲７月 31 日「ガバナー補佐訪問」
神戸第一グループ　ガバナー補佐　山　本　秀　憲　氏

▲８月７日「臨時総会」（決算・予算）

▲９月 11 日「八幡浜市　日土小学校再生のお話」
神戸芸術工科大学　教授　花　田　佳　明　氏

▲９月 25 日「神戸医療産業都市の軌跡と展望」
神戸医療産業都市推進機構　専務理事　村　上　雅　義　氏

▲ 10 月２日「中国人日本語学習者の相槌使用、音響音声学の視点から」
米山奨学生　程　楊　君

▲ 10 月 23 日「三宮地区再整備のお話」
神戸市都市再整備本部　　部長　中　原　　信　氏

▲ 10月30日「空き家とまちとデザイン」
大阪市立大学大学院　生活科学研究科
准教授　小　池　志保子　氏

▲ 11月6日「V.Pが考える職業観」
井　元　憲　生　会員

▲ 11月20日「糖尿病治療：縄文食に通じる糖質制限食」
一般社団法人高雄病院理事長（医師）　江　部　康　二　氏

▲ 12月4日「年次総会」（理事・役員選挙等）

▲ 12月11日「岡本商店街の過去・現在・未来」
橋　谷　惟　子　氏

▲ 12月18日「野球談義いろいろ」
関西大学　硬式野球部監督　早　瀬　万　豊　氏

▲ 1月8日「初釜例会」
川　島　宗　治　会員

▲ 1月15日「職業奉仕のお話」
国際ロータリー第2680地区2015-16年度ガバナー
神戸西神RC会員　丸　尾　研　一　氏

▲１月22日「ロータリークラブと出会って」
元米山奨学生　金　慧英　氏

▲２月５日「事業継承の勘所」
藤　原　雅　司　氏

▲１月29日「ロータリー財団についてのお話」
Ｒ財団委員長　藤　井　光　造　会員
「ポリオのお話」
地区Ｒ財団ポリオプラス委員　関　本　　剛　会員

▲２月19日「車いすテニスのお話」
プロテニスプレイヤー　上　地　結　衣　様
プロテニスプレイヤー　右　近　憲　三　氏

余韻会　（俳句同好会）

平成三十年九月二十八日

於　西村屋　花みかげ

長旅の鮭のロマンを解きし川　奥田　好子

窓少しゆらして厄日とほり過ぐ　畑崎　青峯

露草の花踏みしだく朝ぼらけ　角田　伯堂

地震知らず今年も遡る鮭の群れ　壺井　仙岳

早朝の露草清し散歩道　松谷　泰山

露草や朽ちる牛舎を取囲む　吉井　聖倖

露草の小径でめぐり逢ふ二人　関本　剛紀

鮭のぼるきらきら光る飛沫上げ　松原　氣宏

露草を活けて机上の風立ちぬ　村野　離翔

今日の月雲流れゆく彼方まで　橘　恵子

余韻会　（俳句同好会）

平成三十年十月二十六日

於　西村屋　花みかげ

吊し柿軒に遊ばせ島ぐらし　奥田　好子
山襞は日毎に深く冬近し　執行　執艸
吊し柿故郷の景母偲ぶ　畑崎　青峯
吊し柿ひとつひとつが渋い顔　角田　伯堂
空澄みて真赤な秋や嵐山　則岡　弘士
冬近し寺の梵鐘長々と　橋本　豊翔
蟷螂の微動だにせず日暮れけり　壺井　仙岳
鳥の群南に伺ひ冬近し　松谷　泰山
冬近し朝の寝床の心地よさ　関本　剛紀
軒下に吊し柿干す昭和かな　松原　氣宏
また揉んで吊し柿あと二三日　村野　離翔
りんごむく母のまはりで子等はしゃぐ　飯田　美音

余韻会　（俳句同好会）

平成三十年十一月三十日

於　西村屋　花みかげ

水鳥の犇めき合うて揺らめいて　奥田　好子
林立のタワーマンション初時雨　執行　執艸
スコアより冬の紅葉に気をとられ　畑崎　青峯
水鳥の羽音は絶えず空青し　角田　伯堂
雪の日やっと見つけた富士の峰　塚本　宗哲
時雨来る山懐の一軒家　壺井　仙岳
しぐれをり記念の植樹傘と鍬　吉井　聖倖
水鳥の長き影みて帰路へ着く　早馬　希閃
彩りがしぐれて褪せる伯母野山　関本　剛紀
片しぐれ眼下の茅渟の海青し　村野　離翔
山々の時雨に煙ぶる里の寺　飯田　美音
ひらひらと川面に落ちる落葉かな　松原　氣宏
身に入むや用無きものの行き処　橘　恵子

絵と文　香山　道宣

「実りの秋」

秋の茶会の待合に色紙絵を掛けました。テーマは「実りの秋」。4 月 9 日から開催の東彩会作品展に出展しますのでご覧頂けたら幸いです。

CONTENTS

ロータリー財団地区奨学生報告……1
職場訪問……2
創立 65 周年記念一泊家族旅行 ……3
王子動物園絵画教室……5
創立 65 周年記念忘年家族会 ……7
友生支援学校招待ボウリング大会……9
青陽東養護学校招待ボウリング大会…… 10
新会員自己紹介…… 11
例会スナップ…… 15
余韻会…… 17

編　集　後　記

第 2 号の会報をお届けいたします！

今年度澤田会長のテーマであります、「共に一緒に心の手つないで行動しよう」のもと数々の事業が行われました。それらの事業の写真および記事が、少しでも読者の皆様に楽しんでいただければ幸いです。原稿のご協力を頂きました皆様、また、いつも写真を撮影頂いております石橋様にお礼申し上げます。

広報委員長　　小谷哲也

・発行日　2019 年 2 月 26 日　・発行　神戸東ロータリークラブ　神戸市中央区波止場町 2 - 1（ホテルオークラ神戸内）